



第 19 回 中国四国地区国立病院機構・国立療養所 看護研究学会に参加して  
1 年 安岡かよ

令和 5 年 9 月 9 日に、島根県松江市で行われた看護研究学会に参加しました。

初めて研究発表会に参加し、看護師は、日々患者と向き合いより患者に必要な援助を実施するために常に試行錯誤している現状を知りました。発表を聴講し、科学的根拠をもとに個性を重視しながら、患者や家族に対しても倫理・精神面にも配慮した看護がなされており、私もこのような看護師になりたいと感じました。また、看護研究は、日々行っている看護について、患者にとって最善の看護であるのか考え、研究としてまとめ、発表することで、看護の質の向上につながっていくのだと実感することができました。

学会のテーマである対話についての特別講義では、「対話は、自己の間と他者の間で行われ、対話なくして自己の成長はない。」という言葉が、印象に残りました。今の私には、日常からまずは自分へ関心を持つことを意識し、さらには他者へ関心を広げていきコミュニケーションをとり患者と向き合っていくことが必要であることを学びました。さらに、自分の行動を、相手の立場で考え、変えていくことで良好な関係を築いていけるということも学びました。

今回の学んだこと今後の臨地実習で活かし、根拠ある看護の実践につなげられるよう日々学習を積み重ねていきたいと思いました。これから出会う患者に対し最善の看護を提供し誠実に患者と向き合えるよう努力していきたいと思っています。

